２０１２年（平成２４年）１１月２２日　木曜日　　第４５号

# いさわだむ　にゅーす

国土交通省　東北地方整備局　胆沢ダム工事事務所


取水塔と８００ｔクレーン

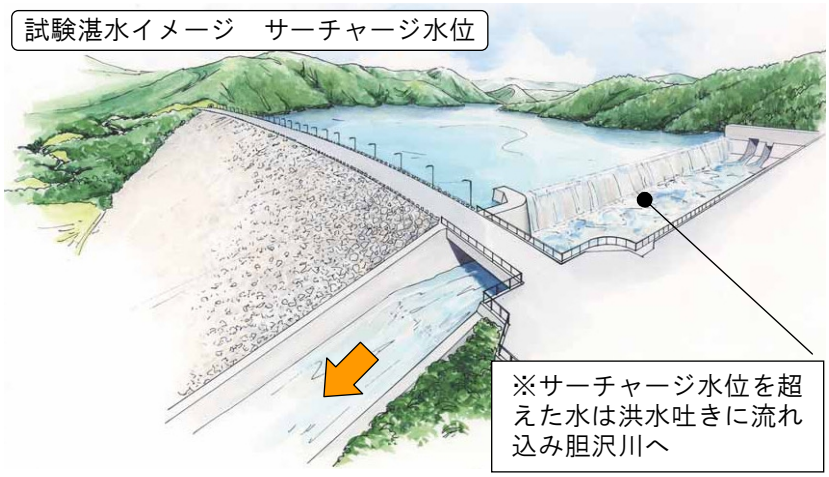
## いよいよ試験湛水スタート


湛水予想図

### １２月から試験湛水を開始します

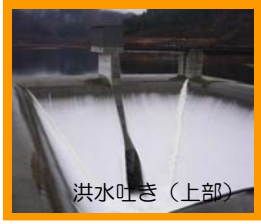
試験湛水（しけんたんすい）とは、ダム堤体完成後に実際に水を貯めて、ダム本体や放流設備、貯水池周辺等の安全性を検証する試験です。
試験湛水は１２月から開始し、来年５月上旬頃にサーチャージ水位まで水位を上げ、１０月頃に最低水位まで下げる予定です。

試験湛水イメージ　サーチャージ水位




■サーチャージ水位
　ダム下流の洪水防止のため、洪水が発生しそうな時に一時的にダムに貯めることが出来る最高の水位
■最低水位
　ダムの運用計画上最低限必要な水位

Ｈ２２森吉山ダム試験湛水（秋田県）


洪水吐き（上部）


洪水吐き（下部）

## 水源地域ビジョン・ダム湖名決定

### ダム湖名は「奥州湖」（おうしゅうこ）に決まりました

９月２７日に開催された「第３回胆沢ダム水源地域ビジョン策定委員会」において、水源地域ビジョン（案）が了承され、ダム湖名は「奥州湖」（おうしゅうこ）に決定しました。
今後は策定されたビジョンを推進していくため、「胆沢ダム水源地域活性化協議会」（仮称）を設立し、プロジェクトの具体的な展開と胆沢ダム水源地域の活性化を目指します。
なお胆沢ダム水源地域ビジョンについては後日、事務所ホームページ等で公表する予定です。


委員会の様子

# ありがとう石淵ダム

## 胆沢ダム完成後は湖底で新たな役割を担います

約６０年もの間、胆沢平野の治水・利水に寄与してきた石淵ダムですが、９月いっぱいで役目を終え、その機能は胆沢ダムに引き継がれました。

運用上支障となる放流ゲートなどは撤去されますが、堤体本体はそのまま残り、湖底の土砂が下流に流れ込むのを防ぐ「貯砂ダム」として新たな役割を担うことになります。



ダムぞう(左)といしぶっち(右)


撤去作業の様子
（放流ゲート）

# 石淵ダム最後の雄姿を思い出に

## 胆沢ダム湖底ウォーキングを開催しました



１０月６日、胆沢ダム工事事務所主催で胆沢ダム湖底ウォーキングを開催しました。
当日は岩手みちのくゆう歩の会など、県内外から約１５０名が参加し、試験湛水後はダム湖の湖底となる道約３ｋｍのウォーキングに汗を流しました。石淵ダムを間近で見ることができる最後の機会とあって、石淵ダムが見える場所までくると、しばらくダムを眺めたり、その姿をカメラに収めたりと、皆さん思い思いに楽しんでいました。

# 学習館閉館のお知らせ

## 胆沢ダム学習館は１２月１日から冬期間閉館します

胆沢ダム学習館は平成２４年１２月１日から冬期間閉館となります。昨年度に引き続いて、今年度も１万人を超えるたくさんの方々にご利用いただき、大変ありがとうございました。
閉館まで残りわずかですが、皆様のご来館をスタッフ一同お待ちしております。

| H24 | 来館者数 |
|---|---|
| 4～6月 | 4,282人 |
| 7月 | 2,139人 |
| 8月 | 2,160人 |
| 9月 | 1,504人 |
| 10月 | 3,058人 |
| 計 | 13,143人 |
| 累計 | 190,890人 |

※累計はH13年度から


説明の様子
（大型模型前）

《編集・発行》
国土交通省　東北地方整備局　胆沢ダム工事事務所
〒023-0403　岩手県奥州市胆沢区若柳字下松原77　TEL：0197-46-4711　FAX：0197-46-4361
ホームページ：http://www.thr.mlit.go.jp/isawa/　　メール：isawa@thr.mlit.go.jp